

## ボートパークの指定管理者の選考結果について

横須賀市立ボートパークの指定管理者の公募を行った結果、1団体から応募があり、ボートパーク指定管理者選考委員会での審査を経て、次のとおり指定管理者を選考しました。

### 1 施設の概要

指定管理者による管理対象施設は、既設の市立ボートパーク2か所とし、この施設の管理運営を行います。

名称	深浦ボートパーク	浦賀ボートパーク
所在地	浦郷町1丁目60番地8ほか及び船越町1丁目284番1地先	東浦賀2丁目4番20号ほか
開設年月日	平成19年4月1日	平成22年4月1日
敷地面積	陸域部分 5,160 m <sup>2</sup> 水域部分 27,723 m <sup>2</sup>	陸域部分 618 m <sup>2</sup> 水域部分 5,464 m <sup>2</sup>
主な施設	係留施設 浮棧橋(5基) 99隻 係船浮標(2地区) 20隻 管理事務所 43 m <sup>2</sup> 駐車場 53台 広場 1,327 m <sup>2</sup>	係留施設 浮棧橋(3基) 65隻 管理事務所 17 m <sup>2</sup> 駐車場 12台

### 2 指定管理者が行う業務

- (1) 係留施設及び駐車場の使用の許可に関すること。
- (2) 係留施設及び駐車場の使用又は行為に係る料金の収入、免除及び還付に関すること。
- (3) ボートパークの施設及び設備の維持管理に関すること。
- (4) その他市長が定める業務

### 3 施設の管理運営経費

対象施設では、利用料金制(独立採算)を採用しているため、管理運営に係る経費は、全額利用料金収入によって賄うものとします。

### 4 公募から選考までの事務手続

指定管理者を指定しようとするときは、「ボートパーク条例」第5条において公募により行うこととなっていますので、次のように事務手続を進めました。

選考委員会設置 令和6年4月1日

公募の周知	令和6年5月27日付 横須賀市公告第101号 令和6年6月1日発行「広報よこすか」に掲載 令和6年6月20日から「横須賀市ホームページ」に掲載
募集要項配布	令和6年6月20日～8月9日
説明会実施	令和6年6月25日 参加団体数1団体 横須賀市役所302会議室において、申請書類、業務及び施設の仕様等について説明を行いました。
申請受付	令和6年8月1日～8月9日 期間中の申請 1団体
選考委員会開催	令和6年5月27日（第1回 募集要項等の内容決定） 令和6年10月8日（第2回 公開プレゼンテーション実施） 令和6年10月23日（第3回 選考団体の決定）

## 5 申請団体

申請のあった1団体の概要については次のとおりです。

No.	1	
団体名	M a r i s & K M B P 共同事業体	
	公益財団法人 マリンスポーツ財団	有限会社 協立マリン
所在地	東京都中央区	横須賀市
団体の形態	公益財団法人	有限会社
代表者	代表理事 笹川 善弘	代表取締役 竹山 博
資本金	5,000百万円	6百万円
従業員数	25人	2人
団体の設立年月	昭和38年3月	昭和49年2月
業種(主な業務内容)	マリンスポーツ普及・振興、水上安全啓発、水辺施設の管理運営等	船舶販売修理、船舶用品販売、各種保険事務、海事教育普及等
同種又は類似施設の管理運営実績	実績あり (現指定管理者)	

## 6 指定管理者の選考

### (1) 選考方法

申請団体の審査選考にあたっては、外部委員3名及び内部委員2名の次の5名からなる選考委員会を設置し、選考委員が申請団体の提出書類及び公開プレゼンテーション結果に基づいて審査を実施しました。

区分	氏名	役職・所属
委員長	近藤 健雄	日本大学名誉教授 工学博士
委員	工藤 幸久	横須賀商工会議所 理事 事務局長兼総務渉外課長
委員	石田 和昭	一般社団法人日本マリーナ・ビーチ協会 調査役
委員	板戸 淳	港湾部 港湾管理課長
委員	高橋 学	港湾部 港営担当課長

### (2) 評価基準及び配点

審査にあたっては、「ボートパーク条例」第7条に定める基準をもとに、次の評価項目及びその配点を設定し評価を行いました。

評価項目		配点
基礎項目評価		150点
提案評価		950点 (190点×5名)
(1)	法令遵守	50点 (10点×5名)
(2)	施設管理	50点 (10点×5名)
(3)	利用者への配慮	50点 (10点×5名)
(4)	リスクへの対応	50点 (10点×5名)
(5)	障害者及び男女共同参画及び多様な性への配慮	50点 (10点×5名)

(6)	地域貢献	50点 (10点×5名)
(7)	人員体制	50点 (10点×5名)
(8)	係留施設の維持管理	100点 (20点×5名)
(9)	利用者への安全啓発	100点 (20点×5名)
(10)	施設の利用機会の提供	100点 (20点×5名)
(11)	施設の安全対策	100点 (20点×5名)
(12)	本市施策への貢献	100点 (20点×5名)
(13)	経費削減	100点 (20点×5名)
合計		1,100点

合計 1,100点 (150点+190点×選考委員5名)

※参考

「ボートパーク条例」第7条（指定管理者の指定）の基準

- (1) プレジャーボートの適正な係留を行うこと。
- (2) 利用者が海に親しむ憩いの場として提供されること。
- (3) 事業計画書の内容がボートパークの適切な維持及び管理を行うとともに、管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 事業計画書に沿った管理及び業務を安定して行う物的能力及び人的能力を有していること。

7 選考団体

東京都中央区築地4丁目3番11号

Maris & KMBP 共同事業体

代表者 公益財団法人マリンスポーツ財団

代表理事 笹川 善弘

8 選考理由

申請団体の評価を行い、基礎項目評価点及び各選考委員の評価点を合計した

結果、評価点が最低基準点を満たしていたため、選考しました。

なお、選考委員会による各申請団体の評価の結果概要は別紙「指定管理者選考結果内訳」のとおりです。

## 9 指定期間

令和7年（2025年）4月1日から令和12年（2030年）3月31日まで

## 10 債務負担行為（収支計画）

債務負担行為額	全額利用料金制のため債務負担行為額はありません。
---------	--------------------------

(参考) 収支計画

※収入及び支出は現行の消費税額及び地方消費税額を加算した額

収入

(単位：千円)

項目	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
指定管理料	0	0	0	0	0	0
利用料金収入	57,592	57,592	57,592	57,592	57,592	287,960
その他収入	100	150	150	200	200	800
計	57,692	57,742	57,742	57,792	57,792	288,760

支出

(単位：千円)

項目	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	計
人件費	14,986	14,986	14,986	14,986	15,276	75,220
事務費	4,190	4,280	4,270	4,440	4,340	21,520
委託費	6,286	6,286	6,286	6,386	6,286	31,530
その他経費	3,600	3,600	3,680	3,600	3,600	18,080
計	29,062	29,152	29,222	29,412	29,502	146,350

1 結果概要(得点/満点(得点率))

順位	1
団体名	Maris&KMBP 共同事業体
基礎項目評価	142.5/150(95%)
提案評価	755/950(79%)
合計	897.5/1,100(82%)

2 評価内訳

【1位】Maris&KMBP 共同事業体

管理経費提案総額 146,350 千円(消費税額及び地方消費税額が加算されています。)※

評価項目	得点/満点 (得点率)	選考委員会における主な意見
基礎項目評価	142.5/150 (95%)	
提案評価	755/950(79%)	
(1) 法令遵守	45/50(90%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設管理に関連する法令等を理解し遵守するとともに、個人情報の保護処置や情報公開制度の適正な運用が確保されていると認められ、評価できる。</li> </ul>
(2) 施設管理	45/50(90%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>海洋生態系における地球環境のサステナビリティを考慮してマイクロプラスチック回収機(シービン)を設置するなど、特記すべき事例を挙げており、評価できる。</li> <li>必要な修繕のうち、自らができるものは内製で迅速に行うことの提案は、利用者の安全と経費の削減に繋がり、評価できる。</li> <li>ビジター艇の受入れを増加させるには、魅力あるボートパーク及び周辺施設等が必須だが、それらについての記述が欲しかった。</li> </ul>
(3) 利用者への配慮	50/50(100%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>クレームやトラブルへの対応については、これまでの施設の管理経験を踏まえ、利用者や関係機関等との積極的な情報や意見の交換を通じて問題解決に取り組む姿勢が明示されており、評価できる。</li> <li>施設利用時の快適さを保つための工夫が、植栽管理やイルミネーション装飾などに見られ、評価できる。</li> </ul>
(4) リスクへの対応	25/50(50%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>リスクの内容を理解し、その予防策を事前に検討することを通じてスタッフ教育に反映するなど、意識の向上に努める記載となっており、評価できる。</li> <li>リスクへの対応において、施設の安全確保で特に重要な点は、定期的な安全点検と日頃のメンテナンスであると理解しており、評価できる。</li> </ul>
(5) 障害者及び男女共同参画及び多様な性への配慮	35/50(70%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者就労施設から物品の購入及び支援を行うという姿勢が読み取ることができ、評価できる。</li> <li>ワークライフバランスへの積極的な取組、従業員の福利厚生に記載に加え、多様な性への配慮がしっかりと規定されており、評価できる。</li> <li>ハラスメントに関する事項は、現代において敏感な問題であり、職員研修を充実させる記載があれば</li> </ul>

		更に良い内容になっていた。
(6) 地域貢献	45/50 (90%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業、造船業といった地場産業や地元小学校との連携により、ボートパークが地域に親しまれる施設となることが期待され、評価できる。</li> <li>・親水イベントに関し、特に子供が参加できる体験乗船会などは、定期的な開催を期待したい。</li> </ul>
(7) 人員体制	30/50 (60%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフに小型船舶操縦士やマリナー安全管理者の有資格者を配置する計画は、海洋に係する団体であることの強みであり、評価できる。</li> <li>・多忙な日常業務の中での研修は困難を伴うが、実際にこれまでスタッフが受講した研修についての具体的な記述が欲しかった。</li> </ul>
(8) 係留施設の維持管理	100/100 (100%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理項目や点検項目が明確にまとめられており、老朽化による不具合にも対処できる計画となっており、評価できる。</li> <li>・係留施設の良い状態を保つため、日常点検や定期点検等のスケジュールや点検内容が具体的に計画されており、安全で効率的な運営が期待され、評価できる。</li> <li>・点検結果による不具合箇所を早期に発見し対応することで、施設の延命化を図る提案となっており、評価できる。</li> <li>・日々の点検や修繕を行う現場の職員には、老朽化した設備に関しては修繕の可否を含めた耐用状況の報告を期待したい。</li> </ul>
(9) 利用者への安全啓発	60/100 (60%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出港届を提出しないまま出港する船舶が存在することについて、必ず提出させるための方策を提案して欲しかった。</li> <li>・ビジター向けの、施設への入港ルートを開示している点は評価できる。</li> </ul>
(10) 施設の利用機会の提供	90/100 (90%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型親水イベントの開催が複数提案されており、地域住民やマリンレジャーに関心のある方へ効率的なアピールができ、ボートパークの認知度に貢献すると認められ、評価できる。</li> <li>・施設がどれだけ利用されているかを示すものとして、係留率だけでなく、施設利用者が船舶を稼働させることで全体の活性に繋がるものと捉えて、稼働率にも注目した提案が欲しかった。</li> </ul>
(11) 施設の安全対策	70/100 (70%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒天時の対策として、係船ロープの増し締め、利用者への指示など、具体的に整理して示されており、評価できる。</li> <li>・災害時の連絡体制に関し、連絡網を示すだけでなく、対応についての具体的なフローチャートやマニュアルを示して欲しかった。</li> </ul>
(12) 本市施策への貢献	70/100 (70%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案のあった複数の親水イベントの実施は、本市の海洋都市施策に貢献する内容となっており、評価できる。</li> <li>・浦賀駅前周辺地区の活性化に協力しようとする姿勢について評価できる。</li> <li>・海から本市を眺める魅力再発見クルーズは、市の観光施策への貢献が期待され、評価できる。</li> </ul>
(13) 経費削減	90/100 (90%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な経費削減を行い、かつ高い係留率を維持することで得られる収益を市に還元する提案について、高く評価できる。</li> </ul>
合計	897.5/1,100 (82%)	

※ 利用料金制（独立採算）を採用し、指定管理料が発生しないため、施設管理運営に要する費用とし

て提案された額を記載